図書館だより SAKUらいぶ

2026年11月　第124号

作新学院大学・作新学院大学短期大学部　図書館

AIと対話する、私を生きる

作新学院大学人間文化学部　教授　村田明日香

「AIは教養のない言葉のモンスター」。この夏、実業家・エッセイストの黒川伊保子さんの講演で耳にし、心の底から納得した言葉です。流暢な言葉で何でも答えてくれるAIを、私たちはつい「何でもわかっている存在」と思いがちです。でも、言葉として知っていることと、自分の身体で経験していることは、同じではありません。例えば、「冷たい」という言葉を知っていることと、川に足を入れて、その冷たさに思わず息をのむことは全くの別物です。

黒川さんの著書『AIのトリセツ』で重要な鍵となるのが「身体性」です。私たちは、身体を通して世界に触れ、喜びや痛みを感じながら、経験を重ねています。言葉だけでは捉えきれない実感が、判断を支えている。だからこそ、AIの答えも、自分の知識だけでなく、経験や感覚に照らして問い直すことが大切なのでしょう。

私が大切にしているのは、「自分はどうありたいか」を問い、その答えを日々の言動にしていくことです。誰かが示す正解に自分を合わせるより、自分の心が動いたことや、小さな違和感を丁寧に受け止めたい。そして、考えるだけで終わらせず、実際にやってみる。うまくいかなければ、その経験からまた選び直せばいいのです。

本を読み、人と出会い、五感を開いて世界に触れ、自分から働きかける。そうして得た経験と知識を、自分なりに結びつけ、教養として育みながら、AIとも対話する。便利な「答えらしきもの」がすぐに手に入る時代だからこそ、自分で感じ、考え、選ぶ。この選択の積み重ねが、真の意味で、自分の人生を生きるということなのではないでしょうか。

本学図書館における社会体験学習

本学図書館では、地域とのつながりを大切にしながら、さまざまな社会体験学習の受け入れを行っています。

8 月 21 日(金)には、「放課後等デイサービストータスミドル上三川」の児童 15 名が来館し、職業体験を行いました。児童たちは、館内見学や図書館業務の体験を通して徐々に緊張がほぐれた様子で、興味や関心を深めながら、笑顔で活動に取り組んでいました。





また、9 月 8 日(火)からの 2 日間は、「宇都宮市社会体験学習(宮っ子チャレンジウィーク)」として、宇都宮市立清原中学校 2 年生 3 名を受け入れました。読書好きの生徒たちは、カウンター業務や書架整理などの作業に熱心に取り組み、図書館の仕事への理解を深めていました。





今後も本学図書館では、地域に開かれた図書館として、子どもたちや生徒の学びを支える活動に協力してまいります。

開館カレンダー11 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

□ 9：00～18：00　■ 休館日

作新学院大学・作新学院大学短期大学部 図書館
TEL:028-670-3652　FAX:028-670-3619
E-mall :tosyo@sakushin-u.ac.jp
URL:https://www.sakushin-u.ac.jp/library/